



NO. 019

FAS通信

平成16年11月号

株式会社福地建装

上磯町中野通321番地

TEL0138-73-5558

新潟中越大地震で、被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

家って何か・・・

今回の震災で改めて家の在り方について考え、何のための家かを問い、問い直してみる必要性を強く感じました。人間生活の営みの中で、最も大切なものの一つであり、おそらく人の買い物の中で最も高価なもの、それが家だと思います。その家に関して、先人達が何千年も英知を傾け、縄文、弥生時代の竪穴式住居から、様々な工夫を凝らしてきました。そして、現在、確かに「形の良い」「使い勝手が良い」「暖かな」「快適な」住宅と言われる家を実現してきました。単に『雨露をしのぐため』から『外敵から生命や財産を守るため』更には、今回のような震災や台風などの自然の猛威からも身を守る大きな役割を担って参りました。

日本の住宅は、世界に誇れる耐震構造になっているにも関わらず、今回の新潟中越地震では多くの犠牲者を出してしまいました。被災者は何をしたのでしょうか。確かに土砂崩れや地盤の割れなどは、どうする事もできないのかもしれませんが、しかし、人の生命を守るべき家が、その生命そのものを飲み込んでしまった事を私達は、もっと真剣に捉えるべきと思います。

経験は生かされたか・・・

私達は1995年の阪神淡路大震災でマグニチュード7.2、死者6千人以上、負傷者4万人以上、被災した建物44万棟という大きな犠牲と被害を出した経験をもっと真剣に受け止め、相応の対策を行なって来たかどうかを省みる必要を怠ったのかもしれませんが、丈夫な家を造れば良いとの考えで、金物や構造材の各々のパーツの強さを競い合ってきたものの、一戸の家全体の安全性を評価するに至っていなかったのかもしれませんが。

確かに、昭和52年と阪神淡路大震災後の建築基準法改正により、構造的には地震や台風などの災害に対して、世界に誇れるような極めて強い基準が制定されました。しかし、建物の構造がどんなに丈夫でも、家具や備品の取り付け基準、設備機器の取り付け強度に至るまでの地震対策が完全であったとは言い切れません。

今回の新潟中越地震で、吸震構造の「ファースの家」は、調査段階ではご

いますが、致命的な構造的損傷の報告はありませんが、家財道具が余震により、いつまた住人を襲ってくるか解らないため、地震発生1週間を過ぎた現在でも、未だに家の中で生活できないでいる住民がおります。

家の構造は、現在の建築基準法をしっかりと遵守することで、地割れや土石流に合わない限り、安全が確保されます。しかし、家の中に設置される様々な家財道具や備品類も建物一部として見なし、最大限の配慮を怠る事のない、本当のバリアフリーが求められる時代になったのです。

ファース本部は今回の震災を契機に、構法、工法、建材、構造部材などのハードウェアと、間取りや住まい方などのソフトウェアと切り離して考えるのではなく、すべてが『人間中心のソフトウェア』であるという思想のもとに、各地域のファース加盟工務店と協力し合いながら、その地域の風土にフィットした、あるべき住まいづくりを求め、今後も一層の研鑽を積みながら研究開発を行って参ります。

冬の知恵袋

～切り花を長持ちさせるには水に一工夫～

切り花を長持ちさせるには、水の管理が第一。水道水に入っているバクテリアみたいな雑菌類が増えちゃうと花がしおれてしまうんだよ。つまり、こまめに水を替えれば、それだけ花を長持ちさせることができるんだよ。そうそう、花をもっと長持ちさせたいなら、こんな工夫をしてごらん。どれも、お台所にあるものを使うだけ済むんだ。

一つめは、水の防腐や減菌をする方法。漂白剤を水の入れた花瓶に一滴ポトンと垂らしてごらん。漂白剤が無ければお酢やアルコール、レモンなんかでも代用できるよ。こうしたものは、防腐・減菌作用があって、水の雑菌類の増殖を防いでくれるんだ。

二つめは、花に栄養を補給するんだ。切り花の栄養補給には砂糖水が効果的なんだ。でも、砂糖の濃さには気をつけなくちゃいけないよ。水の2～3%の濃さが適量だからね。これ以上濃くなると花が水を吸わなくなっちゃうんだ。

あと、砂糖水を使った時は、水の殺菌を忘れないようにしなきゃダメだよ。糖分は、水の中のバクテリアや雑菌を増やしちゃうからね。さっき言った、漂白剤とかお酢と一緒に使って初めて効果が現れるんだ。

